

リーディングDXスクール事業【実践事例】

橿原市立白檀中学校(奈良県)

【取組内容①】

「朝の10分」で基礎学力向上へ
 ～ 一人ひとりが、今自分に必要な学習を選択 ～

中学2年

朝学習

- ・毎朝10分間の「ドリルタイム」を設定。
- ・国英数社理から週ごとに教科を決め、ドリルソフトの問題に取り組む

実践のポイント

○自分に必要な問題に集中できる

- ・朝の10分学習タイムではその週に取り組む教科だけを設定。
- ・生徒は個々に「今自分に必要な学習は何か」を考えるように変化。
不安な単元に繰り返し取り組む生徒やどんどん先に進む生徒など、
10分間の内容は生徒個々に違う。
- ・自分が解きたい問題、やるべき問題に集中できるようになった。

○取り組み状況を個々に確認し、声かけに活かす

- ・テスト前であればテスト範囲に沿った問題に取り組んでいるかどうか、
また誤答が多い生徒は誰かなど、履歴データから確認でき、声かけや
個別指導に繋げることができた。
- ・ドリルも「先生が見てくれている」と気づかせてあげることもポイントである。

